

だれもがつながり支え合う伊奈

伊奈町社会福祉協議会だより

社会福祉法人
伊奈町
社会福祉協議会

第129号
令和8年6月1日

次の社協だよりは8月1日を
予定しています。

詳しくは
P3へ

- 夏季見舞い品をお贈りします。
- 手話講習会(入門編)を開催します。



主な記事

P 8	P 7	P 6	P 5	P 4	P 3	P 2
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

令和8年度事業計画・収支予算
情報掲示板
会費・募金報告、寄付報告
事業報告
「存じますか?」ふれあいいきいきサロン
各部門からのお便り
社協会員運動ご協力のお願い
マンガ「ボランティア少年しゃきょうへん」

ボランティアさんの交流会で
ボッチャを体験しました!
みなさんもぜひボランティア
デビューをしてみませんか。
(P6へ)

令和8年度事業計画

くだれもがつながり支え合う伊奈

重点推進目標

- 支え合い・助け合い地域づくりの推進
- 権利擁護事業の推進
- 生活困窮者自立促進支援の推進
- 福祉教育・啓発活動の推進
- 運営基盤の強化

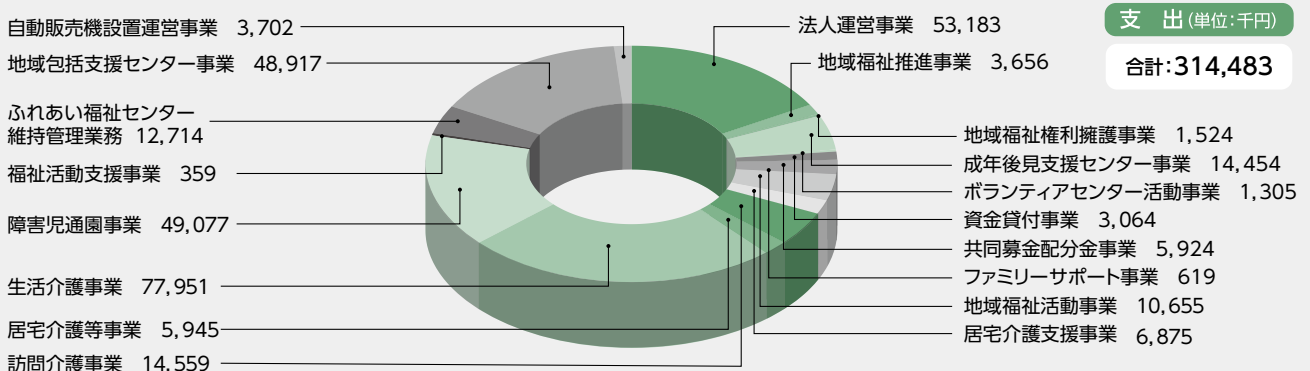
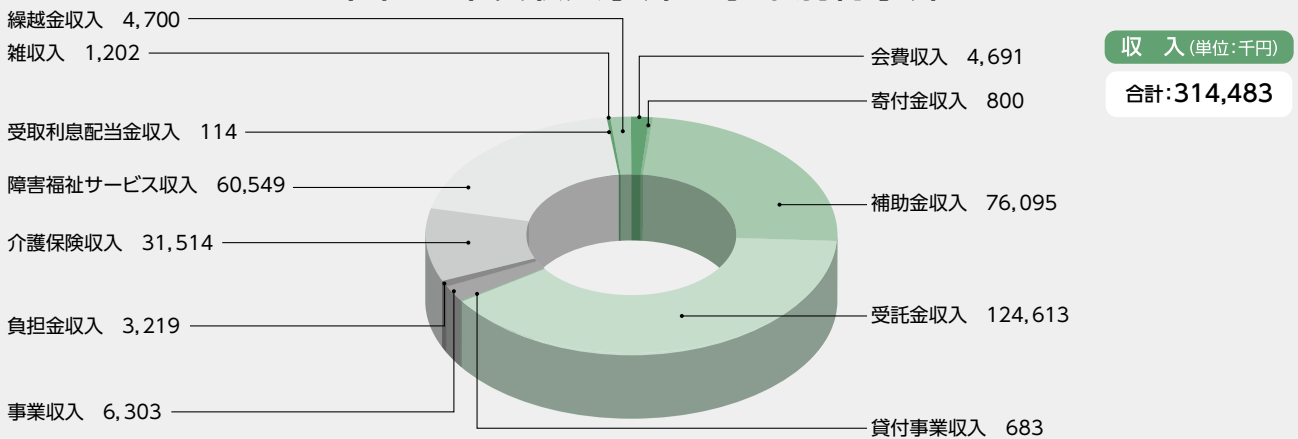
主な事業・活動

〔法人運営事業〕

- 理事会・評議員会・監事会
- 福祉サービス適正運営事業
- 社協運営推進会議
- 事業継続計画の更新
- DX化の推進
- 社協会員の加入促進強化
- 共同募金活動の促進強化
- 自動販売機設置事業
- 広報啓発活動の推進
- **〔ボランティアセンター事業〕**
- ボランティア相談
- ボランティア情報誌の発行
- ボランティア体験プログラム事業
- ボランティア講座
- ボランティアのつどい
- 手話講習会
- 災害支援時の整備
- **〔地域福祉推進事業〕**
- 福祉教育の推進
- 視覚障がい者への朗読テープ等提供
- 福祉大会の開催
- 地域のイベントへの参加
- 福祉協力員設置事業
- ファミリーサポート事業
- 地域ふれあい事業（サロン・子ども食堂）
- ひとり暮らし高齢者交流会
- 視覚障がい者交流会

- 障がい児日帰り保養招待
- 社協事業交流会
- フードドライブ・フードパントリー
- 生活支援体制整備事業の推進
- 関係福祉団体自主活動の支援
- 赤十字会員増強運動への協力
- **〔生活相談支援事業〕**
- ふくし総合相談窓口
- 彩の国あんしんセーフティネット事業
- 関係機関・福祉団体との連携
- アウトリーチによるニーズ把握
- 福祉資金等の貸付
- 福祉サービス利用援助事業
- 福祉サービス苦情解決事業
- **〔在宅福祉サービス事業〕**
- 訪問理美容サービス
- 紙オムツ支給
- 夏季見舞品支給
- 歳末見舞品支給
- 要保護・準要保護生徒卒業祝金支給
- 母子父子家庭児童入学祝金支給
- 緊急援助事業
- **〔介護サービス事業〕**
- 居宅介護支援事業
- 訪問介護・居宅介護等事業
- **〔伊奈町ふれあい福祉センターの管理運営〕**
- 生活介護事業「まっぼっくり」
- 心身障害児通園事業「こひい」
- 福祉活動支援事業
- **〔成年後見支援センター事業〕**
- 成年後見支援センター運営事業
- 法人後見に関する事業
- **〔地域包括支援センター事業〕**
- 地域包括支援センター運営事業
- 家族介護支援事業

令和8年度収支予算 事業別総予算



情報 掲示板

夏季見舞品支給

対象

町内に住所を有する、次のいずれかに該当する方

- 身体障害者手帳1・2級所持者
- 療育手帳(A・A所持者)
- 精神障害者保健福祉手帳1級所持者
- ねたきり老人等手当受給者
- 児童扶養手当受給者
- 就学援助制度利用世帯(準要保護者)
- 生活保護世帯

※入所施設をご利用の方は、対象外となります。
支給品 伊奈町内共通お買物券1,500円分・タオル

申込方法 所定の申込書に必要事項を記入、押印のうえ、社会福祉協議会または地区担当民生委員・児童委員まで提出してください(その他、伊奈町役場社会福祉課・いきいき長寿課・子育て支援課でも受付)。なお、障害者手帳所持者は手帳を持参のうえ、お申し込みください。

※「申込書」は社協ホームページからもダウンロードできます。
申込期間 6月11日(木)～7月7日(火)
支給 8月に地区担当民生委員・児童委員がお届けします。

問 社会福祉協議会



手話講習会

入門編(全21回)

聴覚障がい者への理解を深め、手話技術を身につけませんか?

日時 7月22日～12月23日までの毎週水曜日 10時～12時
 ※8月12日・9月23日は休講

場所 ふれあい福祉センター
対象 町内在住・在勤・在学中、初めて手話を学ぶ方

定員 30名(先着順)

参加費 4,200円(テキスト代)

申込期間 6月1日(月)～30日(火)

申込方法 電話または二次元コードからお申し込みください。

問 社会福祉協議会



福祉大会 参加団体募集

本会では「だれもがつながり支え合う伊奈」の実現を目指すため、住民の方々に福祉への理解や関心を深めていただく場として10月3日(土)に福祉大会を開催します。

福祉大会と一緒に盛り上げていただける福祉団体の方々の参加をお待ちしております。

申込み 7月24日(金)までに、お電話でお申し込みください。

問 社会福祉協議会

障がい児日帰り保養招待

「大きなバスに乗って、楽しい夏の思い出づくりに出かけませんか?」

期日 8月5日(水)

場所 東京デイズニールランド

対象 町内在住の障害者手帳をお持ちの児童、または障がいに準ずる状態にある児童(平成20年4月2日以降生まれの方)とその家族

定員 80名 ※応募多数の場合は抽選

参加費 大人(18歳以上) 8,000円、中人(12～17歳) 7,000円、小人(4～11歳) 5,000円、3歳以下無料。

申込期間 6月1日(月)～6月22日(月) 8時30分～17時15分
 ※土・日を除く

申込方法 印鑑と障害者手帳を持参のうえ、社会福祉協議会までお越しください。

問 社会福祉協議会

人事のお知らせ

《採用》 4月1日付

事務局 板橋優里香

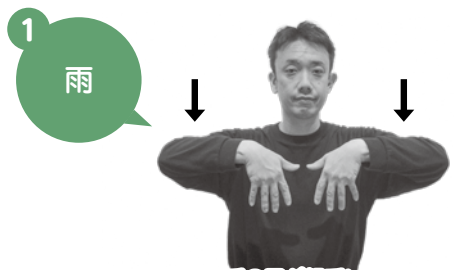
地域包括支援センター 小堀 舞

《異動》 3月31日付

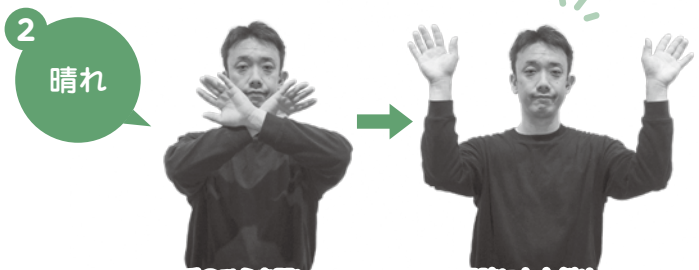
事務局長(町へ) 石田 勝夫

問 社会福祉協議会

手話をやってみよう



1 雨
両手の5指を少し開けて、手の甲が相手に見えるように指先は下に向け、そのまま両手を同時に2回下す。(雨が降る様子を5指で表しています。)



2 晴れ
両手の手のひらを開いて交差し、両手を同時に左右斜め上に弧を描いて開きます。

令和7年度

社協会員運動
共同募金運動 (赤い羽根募金)
赤十字会員増強運動



心温まるご支援・ご協力ありがとうございました

実績額 (単位:円)

地区名	社協会員運動	赤い羽根共同募金運動	歳末たすけあい募金運動	赤十字会員増強運動
丸山	131,100	93,050	43,000	61,800
下郷	129,000	127,050	54,450	88,100
綾瀬東	50,000	50,000	20,000	30,000
綾瀬南	47,300	35,900	17,750	26,500
綾瀬北	78,500	54,950	23,550	31,400
栄南	97,000	84,350	36,900	48,800
栄中央	155,500	77,000	36,550	49,350
栄北	142,000	134,800	59,700	84,850
志久	91,000	58,250	29,700	43,200
南本	249,100	182,200	78,900	104,500
北本	177,900	157,100	112,550	89,600
中央	54,000	89,600	38,400	56,600
小貝戸	348,000	305,900	130,050	178,000
柴中荻	205,000	156,602	72,656	88,400
若榎	104,000	72,800	31,200	41,600
大針	477,000	368,550	158,250	217,000
学園中央	139,500	97,650	41,850	55,800
細田山	55,000	102,200	44,450	59,150
羽貫	373,000	290,200	126,750	172,700
小針新宿	307,000	264,900	114,700	156,600
小針内宿	581,150	469,150	200,450	241,800
光ヶ丘	45,000	31,500	13,500	18,000
その他	609,500(※3)	536,773(※1)	162,800(※2)	2,000(※3)
合計	4,646,550	3,840,475	1,648,106	1,945,750

皆様から寄せられた会費及び募金は、本会をはじめ、埼玉県共同募金会や日本赤十字社埼玉県支部の福祉活動の財源として有効に活用させていただきます。皆様の温かい善意と、ご理解・ご協力に深く感謝申し上げます。

また、この活動に際しご協力いただきました皆様に心からお礼申し上げます。

※1 その他募金種別及び金額 (単位:円)

法人募金	142件	217,000
自動販売機等		4,577
街頭募金	2団体	14,299
職域募金等		127,696
学校募金	11校	153,788
個人募金		19,413
合計		536,773

- 職域募金とは、赤い羽根カード等の資材を利用しながら、各種団体の職員等に協力を呼びかけるものです。
- 職域募金額は、募金資材の制作費を差引いています。

※2 その他募金種別及び金額 (単位:円)

個人募金	1件	10,000
法人募金	6件	152,800
合計		162,800

※3 直接社協に納入されたものです。

〜寄付のお願い〜

伊奈町社会福祉協議会では、年間を通して、住民の皆様や企業・各種団体等の皆様から善意の寄付を募集しています。皆様からお預かりした貴重な寄付は、地域福祉推進に向けて、本会の各種事業の経費や支援に充てています。皆様の温かいお気持ちをお寄せください。よろしくお願いたします。

皆様からの善意は、福祉向上のため有効に活用させていただきます。

井ヶ田敦子 文房具
 (株)森田染工場 タオル300枚
 (株)日本アークセス 食糧等 カラ焼きほし等
 山添美世子
 タオル100枚、A3用紙1束
 匿名2件
 ベビー用ミルク、文房具、日用品

寄付物品(順不同・敬称略)

匿名4件 40,000円
 イースウィーツ 4,430円
 教会 32,294円
 伊奈町PTA連合会 1,732円
 伊奈シャロームチャペル・キリスト教会 14,480円
 第16回ゆめくる祭チャリティー基金 59,000円
 さいしん信栄会 50,000円
 埼玉工場支部・DICC労働組合 59,000円
 DICC(株)埼玉工場 59,000円

「寄付報告」1月1日～4月30日
 寄付金(順不同・敬称略)

事業の報告

ファミリーサポート伊奈 ステップアップ研修 (2月15日)

協力会員のスキルアップを目的に開催しました。

今回は「子どもの遊びと心の発達のお話&疲れた身体をほぐす簡単ヨガ」というテーマで、専門家ををお招きしてご講義をいただきました。

前半は、子どもの発達を理解すると子どもの行動の見方が変わること、デジタルな遊びをアナログな遊びに発展させていくことで五感を刺激する等、子どもとの関わりに大切なことをたくさん学びました。

後半は、ヨガで気持ちよく穏やかな時間を過ごしました。



はじめて学ぶ成年後見制度 (3月1日)



認知症や知的障害・精神障害などにより判断能力が不十分な方の権利を守る「成年後見制度」について講座を開催しました。

専門家を講師に迎え、制度の仕組みや法定後見と任意後見の違い、利用の流れについて、具体的な事例を交えながらわかりやすく解説いただきました。メリットだけでなくデメリットについても説明があり、将来への備えを考えるきっかけとなる有意義な講座となりました。

ひとり暮らし高齢者交流会 (3月5日)

ひとり暮らしの高齢者の方を対象に交流会を開催しました。

今回は「自分の身体を知ろう〜健康でいるための身体づくり〜」についての講座を聞き、日ごろから健康を意識した生活の大切さについて学びました。また、伊奈学園総合高等学校生活科学系のみなさんから手作りのコインケースをいただき、参加されたみなさんにお渡ししました。心のもった贈り物に、とても喜ばれていました。



手話講習会〈基礎編〉 (7月9日〜1月14日)

7月9日〜1月14日、聴覚障がい者の理解を深め、手話技術を習得することを目的に、全25回で開催しました。

講師・アシスタントには、上尾市聴覚障害者協会と伊奈町手話の会にご協力をいただき、受講生10名が基礎課程を無事に修了されました。

長期にわたる講習会でしたが、講師の優しく丁寧な指導のお陰で、毎回和やかな雰囲気です、楽しく手話を学ぶことができました。

受講された皆様、本当にお疲れさまでした♪



特集

ご存じ
ですか?

～地域ふれあい事業～ ふれあいいきいきサロン

社会福祉協議会では、外に出る機会が少ない高齢者などが、身近な場所に気軽に出かけていき、住みなれた地域で仲間づくりや生きがいをづくりを行い、いつまでもいきいきと生活できることを目指し、サロン活動の普及・啓発を行っています。

サロン活動は、地域住民の自由な自主活動として、地域の中のどこにでも作ることができ、参加者の興味や関心に合わせて、内容を企画することができます。

「気軽に」「無理なく」「楽しく」集まれる“憩いの場”を地域に増やし、「顔の見える関係づくり」の拠点として、普段の暮らしや災害時における支え合いとしても繋がるよう、社協では支援していきます。



伊奈町にある「サロン」

(令和8年4月1日現在)

開催地区	サロン名	開催場所	開催予定日
丸山	笑って楽しいお茶飲み会	丸山公民館	毎月第3水曜日
綾瀬東	綾瀬東サロン	あやめ会館	毎月最終月曜日
綾瀬南	サロンみなみ	サンライズ伊奈集会所	毎月第3水曜日
栄南	南にここサロン	栄南会館	休止中
栄中央4丁目	栄ローズサロン	栄中央センター	毎月第4火曜日
栄中央3丁目	サロン「ゆめく～る3」	ふれあい活動センター	毎月第2月曜日
栄北	いってみよう会	栄北区民会館	毎月第4月曜日
志久	ひまわりたの志久サロン	志久公民館	毎月第1月曜日
南本	ごきんじよ会	代表者宅	毎月第2火曜日
北・南本区	ロコラジ・サロン「気分爽快」	本区第2区民会館	毎月第2・4木曜日
中央	げんきか～い	中央区民会館	毎月第4火曜日
中央	中央区サロンつどい	中央区民会館	年3回
中央	さくらんぼサロン	(旧)金子洋品店	毎月第3金曜日
小貝戸	ふれあいサロン小貝戸	小貝戸集会所	毎月第2月曜日
柴中荻	サロンいこいの間	柴中福祉センターいこい	毎月第3木曜日
大針	サロン掘り炬燵	代表者宅	毎月第4火曜日
細田山	さくら会	細田山会館	毎月第2・4火曜日
羽貫	サロン・はぬきんち	羽貫コミュニティセンター	毎月第3火曜日
小針新宿	新宿寿サロン	小針新宿集会所	毎月第3木曜日

参加者の声

「人と会って、話をするのが楽しみになった」
「定期的に体を動かす場所があって明るく
元気になった」
「暮らしに張り合いができた」 など…



サロンをはじめたい方や関心がある方は、
お気軽にお問い合わせください。

問 社会福祉協議会



問 ボランティア
センター

詳しくは、社協ホームページおよびボランティア情報誌等に開催時期や内容など、随時情報を掲載していきますのでご覧ください。



「ボランティア活動をやってみただけで、きっかけがない…」そんな方へ7月から8月の夏の期間を利用して、ボランティア体験を行える「ボランティア体験2026」を開催します。

地域の方や子どもたちとの交流、高齢者施設でのサポートなど、活動内容はさまざま。短期間でも、人とのつながりや、やりがいを感じられる時間が待っています。ぜひこのチャンスを活かして、今年の夏、ボランティアデビューをしてみませんか。

詳しくは、社協ホームページおよびボランティア情報誌等に開催時期や内容など、随時情報を掲載していきますのでご覧ください。

開催します

「新しいことをはじめてみよう」
「ボランティア体験2026」

ボランティア
センター
だより

地域 包括支援 センター

開催します

認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、身近に認知症の人がいた時にそっと見守る、そっと手助けする方が地域にたくさんいることを目的として実施している講座です。認知症のバリアフリー化を一緒に目指しませんか？

内容 基本講座（認知症の症状・診断・治療・接し方等）

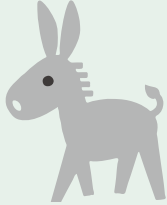
日時 6月21日(日) 9時30分～11時30分
高齢者の権利擁護について

場所 ふれあい福祉センター
講師 伊奈町地域包括支援センター職員
対象 町内在住・在勤・在学の方
定員 24名（先着順）
参加費 無料

申込期間 6月22日(火)～6月18日(木)
申込方法 電話または二次元コードからお申込みください。



▲認知症サポーター養成講座 申し込み



お知らせ

LINEで相談受付ができます！

伊奈町地域包括支援センターLINE公式アカウントでは、土日・夜間でも相談の受付をしています。仕事をしているので土・日しか休みがない方などは、ぜひご利用ください。

左記二次元コードを読み取っていただき、友だち登録後、トークルームから必要事項（相談者氏名、電話番号、連絡がつきやすい時間帯、相談内容）を入力ください。地域包括支援センター職員から電話でご連絡させていただきます。



土曜日の相談

場所 伊奈町パブリックルーム（ウニクス伊奈2階）
日時 毎月第2土曜日 9時～13時
（今後の予定）
6月13日、7月11日、8月8日

申・問 地域包括支援センター



当施設では、利用者さんが自主製品（リース・雑巾・ボカシなど）を作っているほか、下請作業やアルミ缶回収・缶潰し、日常生活訓練を行っています。自主製品は「まつぼっくり」四季彩館「上尾ぐるめ米ランド」で販売しています。

ご協力をお願いします。

製品材料寄付のお願い
現在集めているものはキルティングの布、未使用のタオル、木の実です。小物入れやリースなどのバザー製品製作に使用します。

アルミ缶をご提供ください

当事業所では、アルミ缶を集めています。ご家庭などで出たアルミ缶は腐敗を防ぐため、一度すすいでから、事業所までお持ちください。平日の日中に事業所の玄関先へアルミ缶を置いていただければ結構です。そのほかの時間や曜日の相談はお問い合わせください。

問 障害福祉サービス事業所まつぼっくり

いちごだより

3月19日、卒園式が執り行われ、園児2名が巣立って行きました。これから始まる新たな小学校生活では、楽しいことや嬉しいことをたくさん経験してほしいと思います。さて、4月より新しい友だちが加わり、楽しい歓声とかわい笑顔がいっぱいに広がっています。「いちご」では、一人一人の子どもたちとのかかわりを大切に、一年間を過ごしていきたいと思えます。



問 心身障害児通園事業「いちご」

